

平成26年度

一般財団法人むなかた地域農業活性化機構事業報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

一般財団法人 むなかた地域農業活性化機構

I. 全体総括

当初計画した事業については、農地集積事業において集積実績が昨年を大幅に下回った以外は各事業とも概ね計画どおりの実績となった。

担い手経営改善事業について、両市からの委託業務である認定農業者協議会事務局事務は生育不良のため中止した枝豆狩り交流会を除き概ね計画どおり実施した。農業生産法人の設立については、空き農地の紹介や法人設立へのアドバイス等の支援を行い1法人が設立された。雇用システム実証事業については昨年を大幅に上回る農作業ヘルパーを紹介し、昨年に引き続きブロッコリー簡易調整所実証事業、イチゴのパッケージング研修を実施した。農業体験農園の運営支援については新たな試みとして農園見学ツアーを開催し、新規利用者確保に繋がった。

後継者育成支援事業について、新規就農者育成として25年度から開始した、むなかた地域独自の農業研修は研修生4人について就農に一定の目途をつけることが出来た。しかし、3人、1人、27年度予定2人と少なく今後研修生の確保が課題である。その他では就農への関心を持ってもらうため新たな試みとして就農相談バスツアーを開催し、新規就農者のほ場見学、体験談及び個別相談を実施した。

生産流通振興支援事業については、継続事業を概ね計画通りに実施した。

農地集積事業については、26年度新規事業として農地中間管理事業に取組み事業の周知に努めたが、貸付条件等が厳しく契約までいたらなかった。また円滑化事業についても24件、6.2haの実績と昨年度を下回る結果となった。今後の担い手への農地集積については集落等への働きかけ、取組みの強化が課題として残った。

その他事業については、むなかた「食と農」地域フォーラム”を開催し、地産地消をテーマに基調講演や、むなかた地域の農産物を使った料理グランプリの表彰を行い、地域の農業と生活者の結びつきを深めた。

II. 事業活動の概要

1. 担い手経営改善事業

(1) 宗像市認定農業者協議会事務局事務

①福津市認定農業者協議会との合同研修会として、(有)育葉産業 栗田洋蔵氏を招き「儲かる農業への挑戦～水耕みつば販売単価日本一の秘訣」と題した講演会を福津市文化会館にて実施し、認定農業者に参加を呼びかけた。

(8/28・参加者39人(うち宗像市15人))

②福岡県担当職員等関係機関の担当者を招いて、農地中間管理事業等についての研修会を実施した。(11/5・参加者38人)

③福津市認定農業者協議会との合同による視察研修を実施した。

(10/30～31・参加者29人(うち宗像市15人))

視察先：JAやつしろ 「塩トマトの概要、圃場視察」(熊本県八代市)

熊本県農業研究センター「最近の水稻病害虫の傾向と対策」(熊本県合志市)

- ④農業関係機関（宗像市、宗像市農業委員会、ＪＡむなかた、北筑前普及指導センター）との意見交換会（２／２０・参加２９人）
- ⑤その他、福岡県認定農業者組織連絡協議会総会、理事会、トップセミナー、福岡県農林水産部長との意見交換会へ参加した。

（２）福津市認定農業者協議会事務局事務

- ①「ふるさと先生事業」として、福間南小学校（２年生）のイモ苗植付け、収穫の指導を行った。（植付け ６／６ ６人・収穫 １１／７ ４人）
- ②宗像市認定農業者協議会との合同研修会として、（有）育葉産業 栗田洋蔵氏を招き「儲かる農業への挑戦～水耕みつば販売単価日本一の秘訣」と題した講演会を福津市文化会館にて実施し、認定農業者に参加を呼びかけた。（８／２８・参加者３９人（うち福津市２４人））
- ③宗像市認定農業者協議会との合同による視察研修を実施した。（１０／３０～３１・参加者２９人（うち福津市１４人））
視察先：ＪＡやつしろ 「塩トマトの概要、圃場視察」（熊本県八代市）
熊本県農業研究センター「最近の水稲病虫害の傾向と対策」（熊本県合志市）
- ④１５回目となるみかん狩り交流会を開催し、認定農業者と一般参加者との交流を図った。（１１／９・参加農業者１３人、一般参加者約８８０人）
- ⑤福津市の農業・農政に関する諸問題等について、福津市、議会、福津市農業委員会、北筑前普及指導センター、ＪＡむなかたと意見交換会を実施した。（２／１７・参加者４１人（うち認定農業者２２人、関係団体１９人））
- ⑥ふくつほほえみグループの視察研修、研修交流会等の活動を支援した。（８／２２視察研修、２／２研修交流会等）
- ⑦その他、福岡県認定農業者組織連絡協議会総会、トップセミナーへ参加した。

（３）認定農業者フォローアップアンケート

- ①農業経営改善計画の中間年（３年目）にあたる認定農業者を対象に、計画の達成状況に関するアンケート調査を実施した（９月実施・宗像市１０経営体、福津市１１経営体）。

（４）宗像地区集落営農組織連絡協議会事務局事務

- ①福岡県稲作研究会相談役・元福岡県農協中央会農業対策本部長の高武孝充氏を招いて「今後の米政策」と題した研修会を実施した。（９／１９・参加者１７人）
- ②視察研修会を実施し、水稲、大豆、麦のほかブロッコリー、かぼちゃなど「脱稲作依存」を方針に経営を進め、ほ場選定や土づくりに力を入れるなど、経営の高度化をめざした法人の工夫や取組み等を視察した。（１／３０～３１・参加者１１人）
視察先：農事組合法人「川上営農組合」（山口県山陽小野田市）

(5) 新設農事組合法人等の支援

宗像市池浦にて農業生産法人の設立を希望する相談者に対して、農業委員への相談、空き農地の紹介、法人設立に向けてのアドバイスを実施した。

西田アグリ株式会社（平成26年8月28日設立）

(6) 雇用システム実証事業

福岡県園芸農業等総合事業費補助金を活用して、農家間の労働力融通の円滑化や外部からの労働力の確保を図るため、雇用調整システムの構築、運用に取り組んだ。

- ①農家及び関係機関等による雇用システム実証会議を開催し、雇用調整システム運用の検討、新たな取組みの検討を行った。（8/4・12/8・3/20）
- ②有料広告、募集説明会の開催（2/1）することなどにより、合計131人の名簿登録者を確保した。
- ③JAむなかたとの連携により、延べ264人の農作業ヘルパーを延べ119経営体に紹介した。
- ④農作業ヘルパー登録者のうち6人を選抜し、津屋崎集出荷場にてブロッコリー簡易調製所実証事業を実施した（12/1～2/13）。
- ⑤ブロッコリー簡易調製所への持込み量が見込みよりも少なかったことなどにより、当初目標（作業量90箱/日以上）を達成することはできなかった（実績：作業量約40箱/日）。
- ⑥農作業ヘルパー登録者のうち4人を選抜し、イチゴ農家2経営体においてパッケージング研修を実施した（1/6～2/13）。
- ⑦パッケージング研修受講者のうち2人が、引き続き研修受け入れ先農家で雇用された。

(7) 農業体験農園等開設モデル支援

農家の経営改善に向けた取り組み支援のひとつとして、「ダンディ幸一農園」「瀧産の体験農園元気村」の運営支援（募集案内チラシ作成、ホームページ掲載等）を行った。

また、新たな試みとして、園主、利用者の話を聞く農園見学ツアーを開催し、利用者増加に繋げた。（3/28・参加者12組・契約者6組）

- ①「ダンディ幸一農園」平成26年度利用区画数16区画
- ②「瀧産の体験農園元気村」平成26年度利用区画数23区画

(8) 堆肥ペレット活用実証事業

大豆生産農家の収量回復に向けた継続的な取り組み支援として、北筑前普及指導センターと連携し、ペレット堆肥を活用して地力向上に取り組んだ。

- ①モデル地区及び散布者を選考し、農閑期に土壌分析、散布を行った。（散布地区4地区、散布者7経営体、散布量45,920kg、散布面積65,600㎡）
- ②散布後、アンケート調査を実施し、次年度実施の際の検討を行った。

2. 後継者育成支援事業

(1) 新規就農者育成支援

今年度取組み結果として域内就農（研修生を除く）2人、農家研修2人となった。

- ①新規就農相談者への対応のため、統一様式の相談カードを活用して、関係機関による情報共有とアドバイスを実施した。（相談カード提出15人）
- ②福岡県主催の「ふくおか農林漁業就業セミナー・相談会」に個別相談ブースを出展し、相談対応を実施した。（8/17・相談者7人・1/10・相談者10人）
- ③新たな試みとして、北筑前普及指導センターとの共催により、域内での就農に関心のある者を対象とした「むなかた地域就農相談バスツアー」を開催し、若手就農者の圃場見学、体験談及び個別相談を実施した。（2/8・参加者12人）
- ④正助ふるさと村内で、域内の就農者育成を目的とした、むなかた地域独自の農業研修を引き続き実施した。（1期生3人、2期生1人）また、研修後の就農実現に向けた支援やアドバイスをを行い、研修生4人について就農実現に一定の目途をつけることができた。
- ⑤宗像市及び福津市の「人・農地プラン」及び「青年就農給付金」に関する取り組みについて、関係者協議、対象者ヒアリング、集落説明会、個別相談対応等の支援を行った。

(2) 若手女性農業者育成支援

域内の若手女性農業者によるグループ（菜の花会）との共催により、若手女性農業者研修交流会を開催し、6次産業を考える上での域内の視察や、女性農業者を取り巻く環境やその課題について福岡県議会議員との意見交換を行った。（7/1・参加者15人・2/5・参加者15人）

(3) 青年農業者育成支援

- ①北筑前アグリネット（農業士・女性農村アドバイザー連絡協議会、事務局：北筑前普及指導センター）に対して、活動助成金として40千円を交付した。
- ②宗像地区青年農業者会（事務局：北筑前普及指導センター）が実施した平成26年度宗像地区青年農業者会ふれあい農業体験交流会に対して、助成金として100千円を交付した。（5/11・参加者26人・6/8・参加者20人・7/13・参加者30人）

3. 生産流通振興支援事業

(1) 直売所振興支援

- ①宗像地区の常設直販施設（5か所）を通したむなかた産農産物等の消費拡大を図るため、宗像地区直販施設連絡協議会（事務局：北筑前普及指導センター）の事業として、直売所スタンプラリー（10/1～11/30・応募1,355通）、安全・安心農林水産物制度研修会（8/27・参加者297人）を開催した。

②むなかた産農産物を使用した加工品等の知名度向上と消費拡大を図るため、「かのこの里」において、宗像育ちシリーズ（米・醤油・味噌・豆腐・いちじくジャム・米粉パン）と、特産品開発支援事業で承認された「新たな特産品（むなかた産農産物を使用したキッシュ）」の試食宣伝活動を実施した。

（3/4 来場者数 約150人）

（2） 域内流通振興支援

①むなかた産農産物の消費拡大PRのため、JR福岡駅において、宗像育ちシリーズ（米・醤油・味噌・豆腐・いちじくジャム・テンペ商品等）のリーフレットやチラシ等を配布した。（11/26・300部）

②むなかた産大豆の消費拡大を図るため、「むなかた産大豆巡り」として、地元産大豆を使うテンペ加工場や、大豆圃場の見学、味噌づくり体験を実施した。

（11/14・参加者20人）

③ブロッコリーの定植から収穫までを3回にわたり行う収穫体験や、牧場での乳搾りなどの酪農体験の支援を行った。

（ブロッコリー：10/25・12/6・3/7 3家族延べ29人、酪農体験：10/19・11/3 14家族46人）

（3） 特産品開発

①むなかた産農産物を活用した特産品開発の助成を行うため、特産品開発支援事業助成金交付要綱に基づき助成金を交付した。

- ・スクーデリア・カンパニョーロ（宗像市）…ジャム、ドレッシング、デザート
- ・むなかた吉武こころ会（宗像市）…吉武地域の農産物を使用した漬物（改良）
- ・となりのグリル（福津市）…固形ドレッシング

②福津市産あんずのブランド化を図るため、遊休農地（約300㎡）にあんず苗木の植樹を行う団体を支援した（3/16・13本）。

③JAむなかた等とむなかた産農産物を活用した新商品を開発した（食材等の助成）。

- ・宗像産米を使った米酢

4. 農地集積事業

（1） 農地中間管理事業受託業務

福岡県農業振興推進機構から、農地中間管理事業に係る業務の一部を受託し、事業の周知や受付業務を実施した。

①農地中間管理事業を周知するため、両認定農業者協議会総会や宗像地区集落営農組織連絡協議会総会、また集落等の集会（16ヶ所）などで事業の説明を行った。またポスターの掲示、チラシの配布、JAむなかた広報誌『べじたぶる』に掲載し、事業の周知を行った。

②受け手となる耕作者へ募集に応じるよう誘導し、申出書の受付を行った。

第1回 (H26. 6/1～6/30)の公募件数 0件

第2回 (H26. 11/4～12/4)の公募件数 宗像市8件 福津市1件

追加公募 (H27. 1/14～2/12)の公募件数 宗像市2件 福津市7件

③出し手となる所有者からの申出書の受付及び福岡県農業振興推進機構との契約手続きを行った。

2/12までの申出・予定契約件数 宗像市6件42,251㎡

(2) 農地利用集積円滑化事業 (農地所有者代理事業)

26年度委任契約の締結数 (H27. 3月末現在)

契約件数24件 契約面積 62,650㎡

【26年度委任契約実績】

市名		委任(所有者)件数	委任面積
宗像市	26年度	22件	59,997㎡
	(累計)	(150件)	(573,027㎡)
福津市	26年度	2件	2,653㎡
	(累計)	(62件)	(215,893㎡)
計	26年度	24件	62,650㎡
	(累計)	(209件) ※3件が両市で重複	(788,920㎡)

5. その他の事業

(1) むなかた「食と農」地域フォーラム

JAむなかたとの共催により「地産地消」をテーマとし、ふるさと料理人 藤 清光氏を招いて「食はいのち」と題した基調講演や講師 金印亭恵紅氏等によるリレー講談「地産地消」、また「むなかた地域の農産物」を使った料理グランプリ表彰を行い、地域の農業、生活者との結びつきを深めた。(2/13・参加者514人)

(2) 広報紙発行

農家向けへの情報媒体として「むなかたアグリ・レター」第5号を発行し、JAむなかた広報誌「べじたふる」1月号とあわせて配布した。(約6,000部)

(3) ホームページ開設

主に市民一般向けの情報媒体としてホームページを活用し、イベント案内等の情報を掲載した。(更新回数32回)

(4) 第36回農業功労賞表彰

J Aむなかた農業まつりにおいて、第36回農業功労者表彰を実施し、個人の部で麻生正雄氏（福津市）、団体の部でJ Aむなかた青壮年部竹栗会（栗原大会長）をそれぞれ表彰した。（11/22）

Ⅲ. 業務管理の概要

1. 理事会 開催3回

(1) 平成26年5月20日開催

場所：J Aむなかた本店201会議室

第1号議案

平成25年度事業報告・決算の承認について

原案のとおり承認可決。

第2号議案

平成26年度事業計画（案）・予算（案）の承認について

原案のとおり承認可決。

第3号議案

新役員（案）の承認について

原案のとおり承認可決。

第4号議案

評議員、理事及び監事再任（案）の承認について

原案のとおり承認可決。

(2) 平成26年8月26日開催

場所：J Aむなかた本店302会議室

報告事項

- ・平成26年事業の進捗状況について

(3) 平成27年2月18日開催

場所：J Aむなかた本店201会議室

報告事項

- ・平成26年事業の取組状況について

協議事項

- ・平成27年度予算（案）・事業計画（案）について

2. 評議員会 開催 1 回

(1) 平成 26 年 5 月 26 日開催

場所：JAむなかた本店 101 会議室

第 1 号議案

平成 25 年度事業報告・決算の承認について
原案のとおり承認可決。

第 2 号議案

平成 26 年度事業計画（案）・予算（案）の承認について
原案のとおり承認可決。

第 3 号議案

新役員（案）の承認について
原案のとおり承認可決。

第 4 号議案

評議員、理事及び監事再任（案）の承認について
原案のとおり承認可決。

3. 登記

平成 26 年 3 月 31 日 理事・監事変更登記

辞任（理事）萩原哲夫ほか 3 名（監事）萩原益美

平成 26 年 4 月 4 日 理事変更登記

辞任（理事）亀石敏嗣

平成 26 年 5 月 26 日 評議員・理事・監事変更登記

就任（評議員）伊規須国光ほか 2 名（理事）宮部武文ほか 7 名
（監事）中野和久ほか 1 名

平成 26 年 6 月 9 日 理事変更登記

辞任（理事）宮部武文

就任（代表理事）小田達也

平成 26 年 6 月 27 日 評議員・理事変更登記

辞任（評議員）伊規須国光

就任（評議員）川口正利（理事）白木健治

平成 26 年 7 月 11 日 理事変更登記

就任（理事）久芳昭文

4. 在勤者数（平成27年3月31日現在）

事務局長（業務執行理事）	1名
事務長（嘱託職員）	1名
事務局員（宗像市から派遣）	1名
事務局員（福津市から派遣）	1名
事務局員（JAむなかたから出向）	1名
事務局員（正規職員）	1名
事務局員（臨時職員）	1名
計	7名